

小中一貫教育だより

東条学園 5 年生 田植え体験

地域と学校をつなぐ地域学校協働本部の協力で6月11日、JA 営農指導員、岡本営農組合、地域住民の方々にお世話になり、岡本地区で東条学園の5年生児童が田植え体験をしました。田植え作業に先立って行われた事前集会では、JA の担当者から「昔は手植えだった。昔の人の苦労も体験してほしい。もし興味が湧いたら将来、農業をやってみてください。」とあいさつがありました。植え方の説明を聞いた後、田んぼに入り、体験が始まりました。最初は、恐る恐る田に足を踏み入れていましたが、次第に慣れ、一列に並び、一つ一つ丁寧に植えていました。

体験した児童からは「田植えは初めての体験だった。最初は、簡単だと思っていたけれど、植える作業は難しかった。農家の方はこんなに難しい作業をしていることが分かった。」「機械でやるよりも手作業の方が、楽しいと思った。農業はいいなと思った。田植えは難しくて、こけそうになり、しりもちをついてしまった。」「手植えをすると、苗が倒れてしまって、難しかった。泥んこになったけれど、やったことが無かったので、楽しかった。」などの感想がありました。秋には、保護者も参加して稲刈りをする予定です。教育委員会でも、子どもたちの「自立」に向け、体験活動の中で自己認識や自尊感情を高め、人間としての在り方や生き方を学ぶことを念頭に取り組んでいます。このように、子どもたちが学校・家庭・地域のつながりを実感しながら感動、達成感のある充実した体験活動を推進していきます。



【 一つ一つていねいに植える児童の皆さん 】

滝野南小学校 ふるさと体験学習

6月13日、滝野南小学校で「ふるさと体験学習」がありました。32人の地域の指導ボランティアの皆さんにご指導頂き、ふるさと滝野に伝わってきた地域の伝統的生活文化を子どもたちは保護者と共に体験しました。地域とのつながりが強い、滝野南小学校ならではの貴重な行事で、昭和60年から続いており、今年で41回目を迎えました。この行事の体験者は1543人(今年度も含む)になりました。低学年は「けん玉・ぺったん、こま回し、紙飛行機・紙風船、お手玉」を、高学年は「水鉄砲作り、凧作り、お手玉作り、昔の食事・おやつ作り、紙玉鉄砲作り、折り紙」を体験しました。

各講座を体験した感想は次の通りです。「いい長さの材料を見つけるのに苦戦したけど、上手くできて良かった。」(紙玉鉄砲)、「しっかり縫い合わせるのが難しかった。自分で縫えて良かった。」(お手玉)、「最初は上手く飛ばず、次々と失敗しましたが、チューターさんに教えてもらい最後は良い作品が出来ました。」(水鉄砲)、「ペアの人と協力して、難しい作品でしたが、完成した時の達成感を味わい、折り紙が好きになりました。」(折り紙) 各講座で昔遊びを楽しみ、また達成感を味わえたようです。子ども、保護者、地域の方が共に交流を深める温かい時間となりました。



【 ていねいな指導を受ける児童の皆さん 】